

I . 伊予銀行の概要

～ 本店付近から撮影した松山城 ～

伊予銀行のプロフィール

本店所在地	愛媛県松山市
創業	明治11年3月15日(第二十九国立銀行設立)
創立	昭和16年9月1日
資本金	209億円(発行済株式総数 323,775千株)
従業員数	役員 22人、職員 2,443人(臨時を除く)
拠点数	国内 149か店(出張所7を含む)、海外1か店(香港) 13都府県に店舗ネットワークを展開 (愛媛県117か店、大分県・広島県各6か店、香川県5か店、その他15か店) 駐在員事務所2か所(ニューヨーク、上海)
主要勘定等	預金等(預金+譲渡性預金) 4兆 2,300億円 貸出金 3兆 1,222億円 総資産 4兆 8,113億円 純資産 3,982億円
外部格付	AA-(安定的) : 格付投資情報センター(R&I)



平成20年3月15日に
創業130周年を迎えます

連結自己資本比率(国際統一基準)	12.30%
連結子会社数	12社
連結従業員数 職員 (臨時を除く)	2,840人

(※計数は平成19年9月末現在)

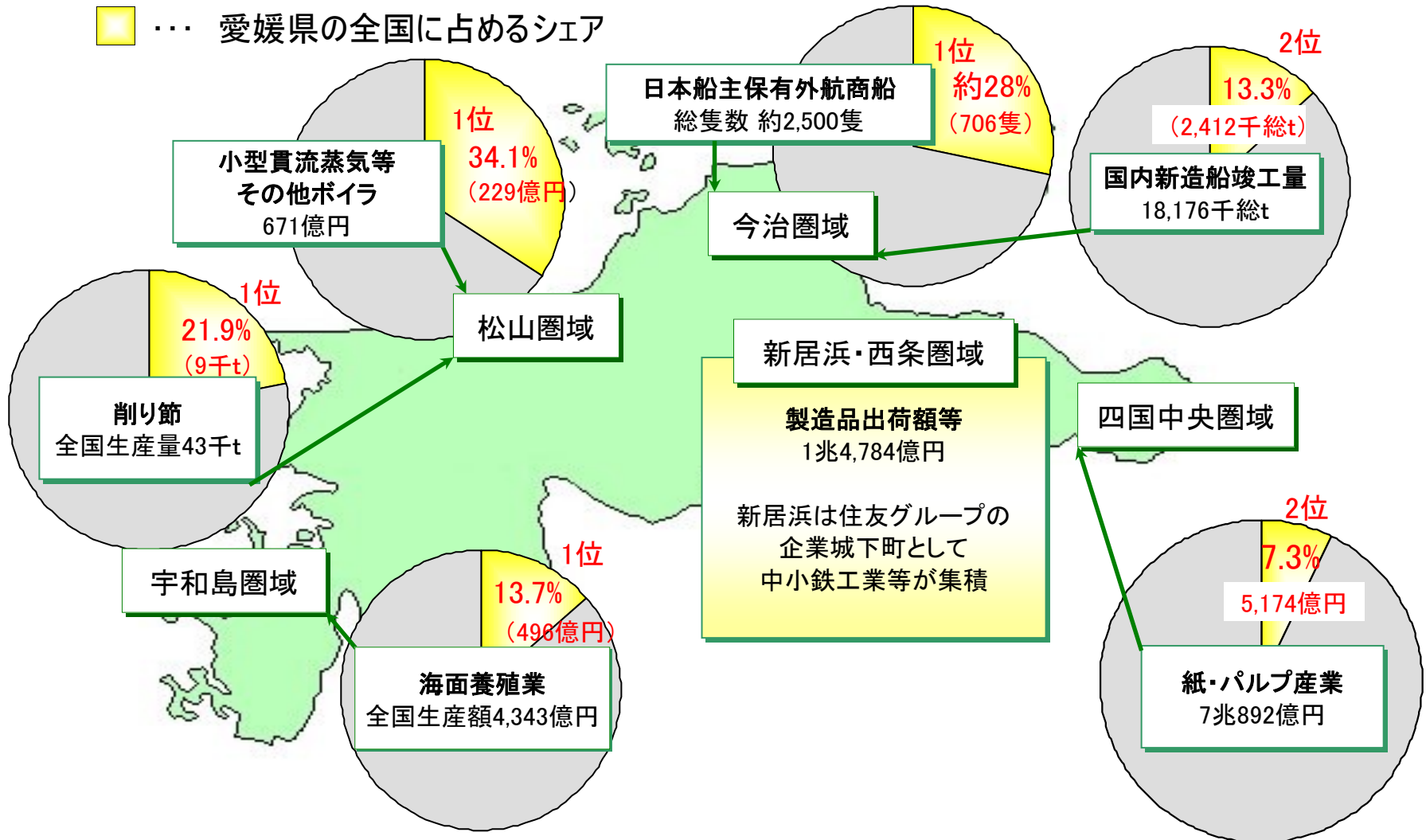
愛媛県の産業の特徴



伊予銀行

- ✧ 平成18年度の愛媛県の製造品出荷額等は3.7兆円(四国の44%)
- ✧ 圏域ごとに全国トップシェアの産業が集積

■ … 愛媛県の全国に占めるシェア



地区別構成比と預貸金シェア



伊予銀行



残高地区別構成比率 … 預金等は、80%を愛媛県内、92%を瀬戸内圏域で調達
貸出金は、59%を愛媛県内、83%を瀬戸内圏域で運用

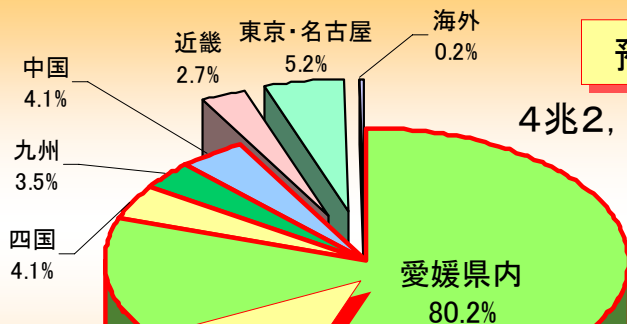


愛媛県内シェア … 預金で53%、貸出金で38%を占める

19年9月末 残高地区別構成比率

預金等

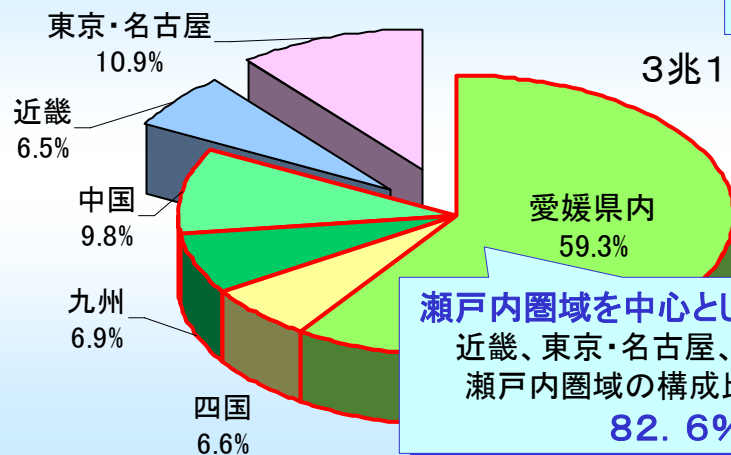
4兆2,300億円



瀬戸内圏域を中心とした調達基盤
近畿、東京・名古屋、海外を除く
瀬戸内圏域の構成比合計は、
91.9%

貸出金

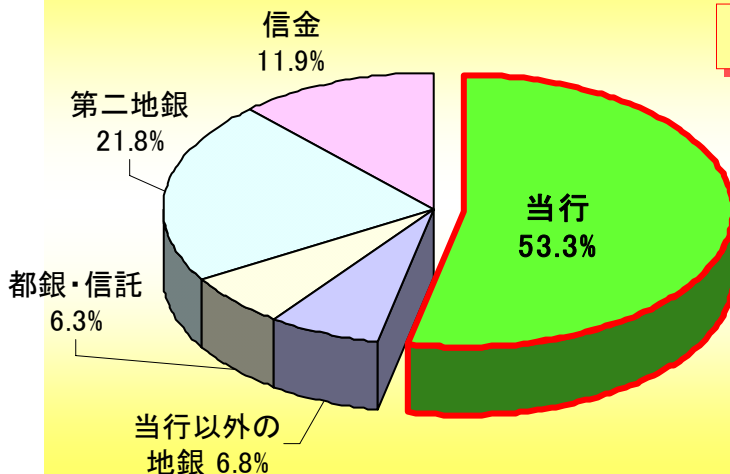
3兆1,222億円



瀬戸内圏域を中心とした運用基盤
近畿、東京・名古屋、海外を除く
瀬戸内圏域の構成比合計は、
82.6%

19年9月末 愛媛県内シェア(除く郵貯・農協等)

預金



貸出金

